



院内感染対策ニュース

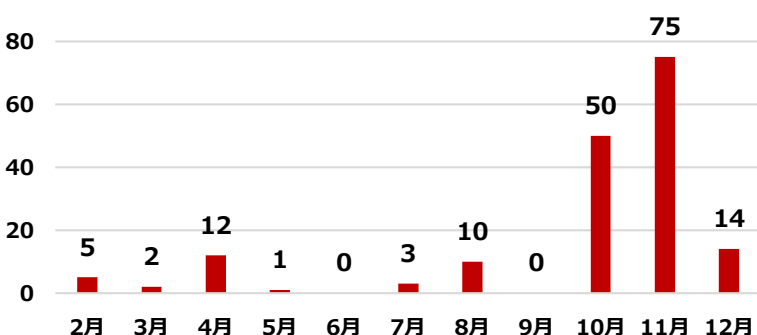


第86号 2020年12月16日
院内感染対策委員会

釧路管内の新型コロナウイルス感染症発生状況

新型コロナウイルス感染症患者が急増しています。北海道は連日200人以上の患者が発生し警戒ステージ3になりました。これは「**感染者がさらに増加し、医療提供体制への負荷がより一層高まる段階**」という位置づけです。釧路市内の陽性患者を受け入れている医療機関もかなり病床がひっ迫してきました。今回は釧路管内の新型コロナウイルス感染症発生状況と年末年始に向けて感染対策について取り上げます。

釧路管内COVID-19発生状況



釧路管内の発生状況は左のグラフにお示しました。2月には当院入院患者の発生も含まれています。8月には初めて2桁の患者数になりました。10月は管内の介護施設や接待を伴う飲食店など3つのクラスターが発生したため急激に患者数が増え、指定医療機関のベッドがひっ迫、管内の複数の医療機関で患者の受け入れが始まりました。11月は医療機関のクラスターが発生し、11/30現在、まだ、終息に至っていません。今後も患者の増加が予想されます。* 12月13日までのデータ

感染予防に努めよう！

マスクの着用、手指消毒又は手洗いの実施、不要不急の外出を控える、人との距離をあげる（ソーシャルディスタンス）、3密を避ける、換気を定期的に実施するなどこれまでもお伝えしてきました。年末年始にかけてお出かけや会食の機会が増えるかもしれません。感染リスクが高まる5つの場面をお示します。

場面① 飲酒を伴う懇親会等

- 飲酒の影響で注意力が低下する。また、聴覚が鈍感し、大きな声になりやすい。
- 特に数居などで区切られている狭い空間に、長時間、大人数が滞在すると、感染リスクが高まる。
- また、回し飲みや箸などの共用は感染のリスクを高める。



場面② 大人数や長時間におよぶ飲食

- 長時間におよぶ飲食、例えば深夜のはしご酒では、昼間の通常の食事と比べて、感染リスクが高まる。
- また大人数、例えば5人以上の飲食では、大声になり飛沫が飛びやすくなるため、感染リスクが高まる。



場面③ マスクなしでの会話

- マスクなしに近距離で会話することで、飛沫感染やマイクロ飛沫感染での感染リスクが高まる。
- マスクなしでの感染例としては、屋外カラオケや野外のバーベキューでの事例が確認されている。



場面④ 狭い空間での共同生活

- 狭い空間での共同生活は、長時間にわたり閉鎖空間が共有されるため、感染リスクが高まる。
- 寮の部屋やトイレなどの共用施設での事例が確認されている。



場面⑤ 居場所の切り替わり

- 仕事での休憩時間に入った時など、居場所が切り替わると、気の緩みや環境の変化により、感染リスクが高まることもある。
- 休憩室、喫煙所、更衣室での事例が確認されている。車やバスで移動する際の車中でも注意が必要。



左のイラストは感染リスクが高まる5つの場面です。年末年始は人の移動や集まりが増えることが予想されます。こういった5つの場面は感染リスクが上がりやすいため注意が必要です。会食や、カラオケなどはマスクを外したり、大きな声を発したり、換気もしにくい環境下となりやすく、実際に感染者が発生しています。これらのリスクを回避して楽しい年末年始をお過ごしください。



新型コロナウイルス感染症対策のお願い

よろしくお願ひします

これからインフルエンザの流行期も重なり、感染状況を注視していく必要があります。今後も基本的な対策を徹底して下さい。北海道では新型コロナウイルス感染症に関する相談窓口を1本化し、利便性の向上を図ることになりました。ただし、釧路保健所では平日日中は相談を受けつけるそうですのでお困りの際に活用できると思います。受診に際してはこれまで通り、直接医療機関へ赴くことはお控えて下さい。皆様のご理解とご協力をよろしくお願い致します。**次回もお楽しみに**

